

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について

- 外国人労働者数は6,452人。
前年同期比で796人(14.1%)増加。

○ 国籍別の状況

- ・ベトナム 2,217人(全体の34.4%) [前年同期比146人(7.0%)増加]
- ・中国 978人(同 15.2%) [同 11人(1.1%)増加]
- ・インドネシア 921人(同 14.3%) [同 237人(34.6%)増加]

○ 在留資格別の状況

- ・技能実習 3,165人(全体の49.1%) [前年同期比8.5%増加]
- ・専門的・技術的分野 1,500人(同 23.2%) [同 35.3%増加]
- ・身分に基づく在留資格 853人(同 13.2%) [同 0.2%増加]

「技能実習」の構成比は、全国における構成比(20.4%)と比べると高い。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 2,997人(全体の46.5%) [前年同期比16.7%増加]
- ・鳴門地域 1,285人(同 19.9%) [同 12.1%増加]
- ・吉野川地域 688人(同 10.7%) [同 3.6%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・「30人未満事業所」が最も多く、外国人労働者数全体の45.5%を占めている。
- ・「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の36.2%)と比べると高い。

2 事業所の状況

事業所全体の状況について

- ・ 外国人を雇用している事業所は1,299所。
前年同期比で69所(5.6%)増加。

○ 地域別の状況

- ・ 徳島地域 605所(全体の46.6%) [前年同期比5.6%増加]
- ・ 鳴門地域 294所(同22.6%) [同 1.4%増加]
- ・ 吉野川地域 145所(同11.2%) [同 7.4%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・ 「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の66.1%を占めている。
- ・ 「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(62.4%)と比べると高い。

3 産業別の状況

- ・ 外国人労働者が就労している業種を産業別にみると、「製造業」が外国人労働者全体の33.6%を占め、次いで「医療、福祉」が15.1%、「農業、林業」が11.8%、「卸売業、小売業」が11.5%となっている。
- ・ 外国人労働者を雇用する事業所数を産業別にみると、「製造業」が19.2%を占め、次いで「農業、林業」が14.5%、「建設業」が13.4%、「医療、福祉」が13.3%となっている。
- ・ 「製造業」の構成比は全国における構成比(外国人労働者数全体の26.0%、事業所全体の16.6%)と比べると高い。

4 派遣・請負の状況

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
51所(事業所全体の3.9%)
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
395人(外国人労働者全体の6.1%)